

次の問いに答えなさい。

問 一 次の傍線部のカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで答えなさい。

- 1、彼の言うことはすべてヨウリョウを得なかった。
- 2、それを言いはじめたらシュウシュウがつかなくなるよ。
- 3、その情報は、校長先生からコウトウで伝えられた。
- 4、細くて丈夫そうな皮ひもをアんで作られていた。
- 5、彼のイタズラに、彼女は鬼の形相で怒っていた。
- 6、都内で賃貸マンションに住むことにした。
- 7、友人でありながら常に彼を敬うような話し方をする。
- 8、ある人からは非にと勧められた本を手にとった。

問 二 次の(一)に言葉を入れて、傍線部の慣用句を完成させなさい。ただし、答えは漢字でもひらがなでもかまいません。

- 1、彼の武勇伝は、眉に(一)をつけて聞いた方がいいよ。
- 2、彼女が生まれたときから、ずっと私が手(一)にかけて育てた。
- 3、今度のドラマの主演として、新人のAに(一)の矢が立った。

問 三 次の1、2、3の文の傍線部と同じ使い方のものを、後のア、イ、ウ、エ、オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 1、汚れた服は自分で洗濯機に入れて洗いなさい。
- 2、昨日、野球の試合があった。
- 3、誰だったかは忘れたけれど、間違いなく存在した。

ア、この場所は何度も来たことがある。
 イ、すっきりと晴れた空を見上げる。
 ウ、これくらいいたいた怪我ではないよ。
 エ、今朝はとても寒かった。
 オ、明日は月曜日だったよね。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし、字数に制限がある場合は、句読点や記号も字数に含まれるものとします。

最近では、新聞記事だけでなく、詩を書くことのできる人工知能もあります。2015年には人工知能が書いたシェイクスピア風の詩を、本物のシェイクスピアの詩と並べ、どれが偽物かを当てるコンテストが行われました。その結果、人工知能の作った詩は、有識者でも区別することができないほどのレベルにあることがわかりました。

人工知能の芸術的才能は、最近では、音楽や絵画にまで広がっています。こうした背景を受け、2016年にマサチューセッツ工科大学は「人工芸術はヒトの創作性に疑問を投じる」と題したレビューを発表しています。

たとえば音楽。楽理の教科書を読めばよくわかります。ヒトが「心地よい」と感じることでできるメロディや和音は、比較的パターンが限られています。人工知能はそうした「ヒトの心のツボ」を突いた曲を機械的に作り出しているわけです。

この事実は、逆に人工知能の立場に立てば、次のように挑発的に解釈することもできます。「音楽とはかくも多彩な可能性に満ちた豊穡な芸術世界である。ところがヒトの脳ときたら、なんと了見が狭い。限られたパターンしか気持ちいいと感じないようだ。ためしにヒトの快感ルールに則って曲を作つてやろう。ほら、やつぱり予想通りに喜んでくれるよ。」

ヒトの脳はわかりやすいほど単純だ。――

ヒトは自分の「心」が深遠で神秘的なものと考えています。しかし、本当にそうかは、ヒト自身には捉え切れないところがあります。もしかしたらヒトの心を一番理解できるのは、ヒトではなく、人工知能である可能性さえあります。

実際、悩み相談などの人工カウンセラーさえ開発されつつあるのです。人工知能のほうで、ヒトの心の痒いところに手が届くのでしょうか。一部の利用者には「根気よく耳を傾けてくれる」と人気があるそうです。なかには「他人には言いにくいことでも、人工知能が相手ならば心置きなくすべてを打ち明けられる」という感想を述べる人もいます。

よくよく考えれば、もてなしや気回しなどの「気遣い」は、作業としては恐ろしく機械的です。気が利くか否かも十分なセンサーを取り付ければ解決できる問題です。つまり、創造、芸術、直感、気遣いは、決してヒトならではの牙城ではなく、私たちヒトが安易に想像するよりも、はるかに簡単に人工知能によって代替されてしまう機能なのかもしれません。

こうした近年の躍進から、「人工知能は人間の仕事を奪う」と恐れる人がいます。繰り返し言います。こうした考えこそが、人工知能を敵視する誤った姿勢なのです。

現代は、ちょうどイギリスの産業革命の時代に似ているといわれます。当時は蒸気機関の技術革新に伴い、多くの人が失業を恐れました。しかし、実際には失業したのではなく、新たに生まれた雇用に伴って「転職」したのです。日本もかつて似た経験をしています。明治維新です。江戸時代は90%近くの人々が農民でしたが、現在までに多くの人が転職しました。いま直面している状況は、これに似ているのです。

自動運転技術が確立されればタクシー運転手は必要なくなるかもしれません。自動もてなし装置ができれば窓口業務は必要なくなるかもしれません。同時翻訳機が完成すれば英語の授業は必要なくなるかもしれません。しかし、どれほど人工知能が進歩しても「人のすべきこと」「人ならではの作業」は残るはずで、当然、そこには新たな雇用が生まれるはずで、

もちろん今後に残るであろう職種についても、時代相応の対応が求められます。そんな未来を予言するのが、いまの将棋や囲碁の棋士たちの姿です。いまやプロの公式戦で出る新しい手はコンピュータソフトから得たものがほとんどです。つまりプロ棋士が人工知能に「教えを請うている」わけです。なぜなら将棋や囲碁はヒトには難しすぎるゲームだからです。

これと同様で、一般の職場でも、いずれ似た現象が生じるにちがいません。人工知能のほうがヒトよりも合理的な判断をする可能性があるからです。

となれば、キーワードは「7」です。今後は、各個人が人工知能と独自にタッグを組む時代になるでしょう。もちろん現場で職務を担当するプレイヤーはヒトです。つまりヒトは、「職場」という舞台で人工知能の描いたシナリオ通りに演じるプロの「役者」となるのです。その魅力的な演技力に観客(雇用者)は観劇料(給与)を支払う――。そんな世の中になっても不思議ではありません。

私自身も人工知能を用いた研究をしています。しかし正直に告白すると、人工知能が将来どういう方向に、どこまで発達していくかを、現時点では読み切ることができません。つまり、「ヒトならではの仕事」を現時点では予測できません。むしろ今後、人工知能が発達してゆくことによつて、ようやく「ヒトらしさとは何か」という疑問に対して明確な答えが得られてゆくのだと思います。

このようにヒトの輪郭さえ曖昧になっている世の中ですが、おそらく確実に言えるだろうことが二つあります。

1. 脳の柔軟性を養っておくことがますます重要——。素早く対応できる「適応力」は、将来どんな変化が社会に訪れようと、万能な基礎力となるでしょう。

2. 未来を予測するための最善策は「未来」を自ら造ること——。変化を甘受する受動的な人間でいるよりは、自ら旗を振り、変化を生み出す波頭に立つことが、変化に上手に対応するもつとも楽な方法にちがいありません。もう一度言います。人工知能は決して人類と睨み合う敵手ではありません。心強い味方です。と同時に、私たちに「人らしさとは何か」を問い、自分を見つめ直す契機を与える教示的な存在でもあるのです。だからこそ、人工知能とよい共存関係を築くことで、ヒトの尊厳がより快適に守られるようになるはずなのです。

《池谷 裕二『できない脳ほど自信過剰』より》

(注) レビュー……………批評記事のこと。

楽理……………音楽の理論。

牙城……………組織や勢力の中心となる所。ここでは外から損なうことのできない大事な所の意。

繰り返します……筆者はこの文章以前の箇所と同内容のことを述べていた。

問一——1「ヒトの脳はわかりやすいほど単純だ」とありますが、「ヒトの脳」のどのような点についてこう言えるのですか。音楽の例に則して六〇字以内で説明しなさい。

問二——2「もしかしたらヒトの心を一番理解できるのは、ヒトではなく、人工知能である可能性さえあります」とありますが、それはなぜですか。解答用紙の「くであるから」につづく形で、文中から三〇字で抜き出し、始めと終わりの三字を答えなさい。

問三——3「気が利く」と同様の意味で使われている言葉を文中から一〇字で抜き出しなさい。

問四——4「人工知能は人間の仕事を奪う」という考えを誤りだとするのは、筆者がどのような考えをもっているからですか。文中の言葉を使って、五〇字以内で答えなさい。

問五——5「いま直面している状況」とは、どのような状況ですか。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、多くの人が失業を恐れ、人工知能に対して敵対心をたぎらせている状況。
イ、社会的変革が急速に進み、資本主義に代わる経済が生まれつつある状況。
ウ、人工知能の急速な発展によって、社会構造が変化しているとする状況。
エ、経済発展のため、官民挙げて新たな産業革命を起こそうとしている状況。

問六——6「人工知能に『教えを請うている』とありますが、これと同意の内容を比喻を用いて表している部分を四〇字以内で抜き出し、始めと終わりの三字を答えなさい。

問七——7に入れるのにふさわしい言葉を文中から抜き出しなさい。

問八——8「『ヒトならではの仕事』を現時点では予測できません」と筆者は述べていますが、あなたはどのような職業や作業が「ヒトならではの仕事」になると思えますか。自分で考えた例を一つ挙げて説明しなさい。

問九——9「人工知能が発達してゆくことによって、（ ）明確な答えが得られてゆく」とありますが、それはなぜですか。文中の言葉を使って三〇字以内で答えなさい。

問一〇 ヒトが人工知能と今後つきあっていくための姿勢を筆者はどのように考えていますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、日々進化を続けている人工知能に人間が取って代わられてしまうという恐れを持つのではなく、自ら積極的に時代の移り変わりに適応するよう努めつつ、人工知能と人間がそれぞれの特性を活かして争うことなく存在していこうとする姿勢。
- イ、人間は人工知能に比べて非効率的でミスも多いという事実を認識し、今まで持っていたものと異なる新たなものごとの見方や価値観を主体的に見つけていくことによって、人間の能力をはるかに超えた人工知能に対抗していこうとする姿勢。
- ウ、人工知能により合理的に示されるこれからの人間の取るべき態度や進むべき方向を素直に受け入れつつも、人間の持つている不完全さの良さを再確認し、自分自身の人生の大切な場面では自尊心を持つて意志を貫き通していこうとする姿勢。
- エ、人工知能は人間が生んだ情報ツールの一つにしか過ぎないことを理解し、むやみに不安がることなく社会の転換に順応できるよう努力しながら、人生の方向性に関しては今までと変わることなく自分自身で確実につかんでいこうとする姿勢。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし、字数に制限がある場合は、句読点や記号も字数に含まれるものとします。

父（博明）は専門作家を目指すため、母（恵里佳）と離婚し、海辺の町に暮らし始めた。一方、一二歳の姉（風花）と九歳の弟（天水）は仕事復帰した母と住むことになったが、夏休みを利用して二人で父の家へ泊まりに来ていた。

二人が帰ってくる前に、一度様子を見に行く約束を風花としていた。

風花は、きっと私には似ていないって思うんだ。

顔はどんどん私に似てきているんだけど、性格は、どっちかというところ、博明さんに似ているのかもしれない。娘と息子なんて、理想的って言われたことがある。

自分ではそんなことは考えなかったけれど、女の子と男の子、両方のお母さんになれたのはとても嬉しかった。ここまですっかり二人の今までのことを思い出すと、やっぱり男と女は子供の頃から全然違うんだなあ、って理解できたのは、よかったと思う。改めて、自分が女である意味なんかを考えたりもできた。

そう、親は子供と一緒に親として成長していくんだってことも、本当に、実感している。

まだ、二人がどんなふうにな長してどんな大人になるかわからないけれども、何となくだけど、風花とはべったりの親子にはならないような気がしている。

むしろ、天水がちよっとマザコンに育つかも说不定。あの子は博明さんよりも私にずっと甘えてくるから。それもまづいと思うから気をつけようと考えているけれど。

風花は、きつとすぐに大人になる。大人っぽい考え方をする子供になる。だから、独立心も旺盛になると思う。

中学や、高校に入ったらすぐに「留学したい」とか言い出すかもしれない。そうしてさっさと家を出ていってしまって、自分の足でしっかりと立って生活して、ときどき私のところに帰ってきて話すだけ話したら「それじゃ！」って言って笑顔で去っていく。

そんな女の子になりそうな気がする。

利口な子だから、離婚があの子の心に²を落とさないようにしなきゃならないって思って、しばらくの間は風花が言い出したことにはきちんと応対するようにしているの。
だから、顔を出す。

その気になれば日帰りだってできる。でも、たぶん一泊してくることになる。土日掛けて行くんだから日帰りする方が変だ。³天水だって、きつと泊まっていこうって言う。

そのために荷物を準備しながら、溜息^{ためいき}をついた自分に少し驚いた。今の溜息は、明らかにブルーになっているときの溜息。

⁴気が進まないときの溜息。

博明さんに会いたくないわけじゃない。どっちかといえば、会いたい。会えば、抱きついてしまいそうな気がする。あ、違うかな。そんなことは、ない。ちよつと妄想^{もうそう}し過ぎ。

お互いに微妙な笑顔を浮かべて、「元氣そうね」ぐらいで済ませる。それが、普通。でも、もしも、子供たちが寝静まったところで身体が触れ合ってしまったら、思わず抱きついてしまいそうな、そういう気持ちを簡単に想像できるぐらいには、博明さんのことが好きなんだ。

夫だもの。

愛して、結婚して、子供を産んだ。

そういう人。

でも、離婚をして一人で暮らすことを選んだ我儘^{わがまま}な人。

別れて暮らす毎日には慣れたけれども、改めて会うことに慣れていない。そもそも、あの人が出て行ってから、電話では何度も何度も話しているけれど、一度も顔を合わせていない。

会ったときに、自分がどんな顔をしてしまうのか、全然わからないし、コントロールできる自信もない。

まあ、風花と天水がいるから大丈夫だとは思うんだけど。

感情って、一言で「感情」なんて言うけど、絶対にそんな一言で済ませられるような簡単なものじゃない。寂しいと辛いは必ず一緒にやってくるわけではない。寂しいけど楽しいってこともあるはずだし、寂しいけど悲しいってことだってあるはず。色は、黄色と青を混ぜるときれいな緑色になる。それと同じように楽しいと悲しいが混じり合って（〇〇しい）って感情になるんじゃないかな。

「そういう表現は」

ないのか。私は博明さんみたいに小説をたくさん読まないから、難しい言葉を知っているわけじゃない。

きつと今の私たちは、私と博明さんは、同じ思いを共有している。

そういう意味では、一緒に暮らしていたときよりずっと近しい感情を抱いているのかもしれない。

寂しいけど、嬉しい。

⁵悲しいけど、楽しい。

そんなような思いを、同じ思いを抱いているはず。

「そうか」

それって、結局。

「似た者夫婦だったってことかしら」

「いらつしやい」

「素敵な家ね！」

「だろう？ これは 6 だっていったのは間違いないだろう？」

「本当。すごい」

お母さんが、なんだかすっごく嬉しそうにして、ニコニコしながら家の中を歩き回っていた。前の夜に、風花ちゃんと話したんだ。お母さん、どんなふうに来るのかなって。だって、お父さんと会うのは離婚してからすっごい久しぶりだったんだ。だから、二人がどんなふうになるのかなってちよつと心配したりもしたんだ。駅まで迎えに行くって言ったのに、お母さんはバスに乗って一人で行くからいいって。これから何度も来るかもしれないんだから、道順を覚えるって。それで、風花ちゃんとお父さんと三人で家で待っていた。

そうしたら、お母さんが来たのが見えたらもうすっごいニコニコして嬉しそうにして。

「築何年かわからないのね？」

「正確にはね。たぶん戦後すぐって話なんだけど」

この家の話ばかりお父さんとしていた。そして、あちこちを見て回ってる。僕と風花ちゃんは居間で黙って待っていた

問二 — 2 「☐を落とさない」の☐に入れるのにふさわしい漢字を、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、影 イ、肩 ウ、気 エ、力

問三 — 3 「天水だって、きっと泊まっていこうって言う」の言葉に込められた恵里佳の気持ちの説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、不本意ではあるものの、今の状況的には泊まらないわけにはいかないということを冷静に受け入れている。
イ、泊まるべきか迷っていたが、天水の無邪気な言葉によって博明と本気で向き合おうと勇気づけられている。
ウ、何かと理由をつけてはいるものの、実際は自分自身も博明のそばに長くいたいという気持ちは持っている。
エ、甘えん坊の天水から父親を引き離してしまった罪悪感から、天水のお願いを聞いてあげたいと感じている。

問四 — 4 「気が進まないときの溜息」とありますが、なぜ「気が進まない」のですか。その理由を示す一文を文中から抜き出し、始めの三字を答えなさい。

問五 — 5 「悲しいけど、楽しい」とありますが、何が悲しくて、何が楽しいのですか。五〇字以内で答えなさい。

問六 本文前半部分で、恵里佳が離婚した今の状況を肯定的にとらえていることが感じられる比喩表現を一文で抜き出し、始めの三字を答えなさい。

問七 ☐6 に入る言葉を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、年代物 イ、縁起物 ウ、いただき物 エ、掘り出し物

問八 — 7 「ああなるんだ」とありますが、具体的にどのようなことになったのですか。文中の言葉を使って三五字以内で答えなさい。

問九 — 8 「リコンして良かったのかもね」とありますが、天水の感じている「良かった」こととはどんなことですか。それぞれ二五字以上三五字以内で二つ答えなさい。

問一〇 — 9 「風花ちゃんがちよつと笑った」とありますが、ここでの風花の気持ちの説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、天水の発言が無邪気さの現れではなく、風花の予想を超えた大人びたものだったことに驚き、天水を頼もしく感じている。

イ、天水の考えにまだ幼さを感じているが、自分のことだけでなく母を気遣う心を持ったことは認めてあげようと思っている。

ウ、円満だった家族が少しずつ離れていく中でも、天水は両親の離婚を前向きに受け止めていることがわかり、安心している。

エ、天水の話を真剣に受け止めながらも、子ども扱いされたと感じた天水がむきになって話を続ける姿をおもしろがっている。

5	1
6	2
7	3
う	
8	4
	んで

[illegible][illegible][illegible]

問五	
問六	始め } 終わり
問七	

問
八

[illegible][illegible]

問
二

問
三

問
四

[illegible]

問
八

問		
九		

[illegible]

受験番号
※

[illegible]